



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月2日

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所 東
 コード番号 6186 URL <https://www.ichikura.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理本部長 (氏名) 数見 康浩 (TEL) 03-5288-7111 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	4,111	123.8	△242	—	△213	—	△225	—
2021年3月期第1四半期	1,837	△57.6	△1,314	—	△1,142	—	△1,097	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 △186百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △1,093百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	△40.97	—
2021年3月期第1四半期	△200.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	17,511	2,562	14.6	464.80
2021年3月期	17,849	3,422	19.2	620.75

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 2,562百万円 2021年3月期 3,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,940	26.8	407	—	400	—	307	—	55.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	5,516,335株	2021年3月期	5,516,335株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,647株	2021年3月期	2,647株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	5,513,688株	2021年3月期1Q	5,482,272株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

2021年8月10日(火)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年6月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、一部の地域において、3度目の緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用を受け、飲食店や大規模商業施設などの営業が制限されるなど、景気が再び停滞し、国内の経済環境は依然として不透明な状況で推移いたしました。

(和装事業)

和装事業におきましては、新型コロナウイルス感染予防対策を実施しての店舗運営や教室運営により、コロナ禍でのお客様獲得に努めてまいりました。積極的な催事開催、プライベートブランド商品の好調な受注等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,116,093千円(前年同四半期比83.2%増)となりました。今後に向け積極的な広告宣伝を実施したこと等により、セグメント損失は72,806千円となりましたが、前年同四半期比では、417,463千円改善いたしました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日 企業会計基準委員会)等の適用もあり、4,779,457千円(前年同四半期末比59.7%増)となっております。

(ウエディング事業)

ウエディング事業におきましては、新型コロナウイルス感染予防対策を実施しての式場運営、新郎新婦様、ゲストの皆様にご安心いただけるよう、結婚式に携わる従業員全員に月2回の抗原検査を開始するなど、安心・安全な結婚式の提供に努めてまいりました。名古屋地区への3度目の緊急事態宣言発出の影響はあったものの、前年同四半期に比べ新型コロナウイルスによる影響が緩和し、当第1四半期連結累計期間の売上高は995,141千円(前年同四半期比627.9%増)となりました。セグメント利益は1,020千円となり、前年同四半期比で622,818千円改善いたしました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の受注残組数は、1,301組(前年同四半期末比1.2%増)となっております。

(全社)

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,111,234千円(前年同四半期比123.8%増)、営業損失242,182千円、経常損失213,890千円、親会社株主に帰属する四半期純損失225,911千円となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日 企業会計基準委員会)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は17,511,114千円(前連結会計年度比1.9%減)となりました。

流動資産の残高は9,299,168千円(前連結会計年度比3.4%減)となりました。これは主に現金及び預金が367,874千円減少したことによります。

固定資産の残高は8,211,946千円(前連結会計年度比0.1%減)となりました。

負債につきましては14,948,357千円(前連結会計年度比3.6%増)となりました。

流動負債の残高は12,698,182千円(前連結会計年度比5.0%増)となりました。これは主に前受金が1,082,808千円増加した一方で、短期借入金390,000千円、買掛金が59,777千円減少したことによります。

固定負債の残高は2,250,174千円(前連結会計年度比3.8%減)となりました。これは主に長期借入金が107,523千円減少したことによります。

純資産につきましては2,562,757千円(前連結会計年度比25.1%減)となりました。これは主に「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い当第1四半期連結会計期間期首で利益剰余金が634,640千円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純損失225,911千円を計上したこと、配当金38,595千円を支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日の「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました、2022年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,369,143	4,001,268
売掛金	932,497	712,625
有価証券	202,052	201,700
商品	1,957,716	1,992,582
レンタル商品	1,230,034	1,223,851
仕掛品	402,368	601,857
原材料及び貯蔵品	109,419	138,913
その他	427,535	426,368
流動資産合計	9,630,766	9,299,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,915,141	4,883,743
土地	1,336,979	1,336,979
建設仮勘定	241,538	270,573
その他(純額)	292,400	270,669
有形固定資産合計	6,786,060	6,761,965
無形固定資産		
ソフトウェア	59,934	53,664
のれん	6,194	—
その他	77,002	79,228
無形固定資産合計	143,131	132,892
投資その他の資産		
投資有価証券	59,728	57,151
出資金	10	10
敷金及び保証金	1,204,802	1,227,989
その他	24,955	31,937
投資その他の資産合計	1,289,496	1,317,088
固定資産合計	8,218,688	8,211,946
資産合計	17,849,455	17,511,114

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	775,968	716,191
短期借入金	5,200,000	4,810,000
1年内返済予定の長期借入金	430,092	430,092
未払金	375,992	377,168
未払費用	311,182	308,051
未払法人税等	26,284	10,328
前受金	4,828,288	5,911,096
預り金	34,741	39,370
賞与引当金	2,040	—
ポイント引当金	30,617	—
その他	73,473	95,883
流動負債合計	12,088,681	12,698,182
固定負債		
長期借入金	1,059,585	952,062
資産除去債務	329,558	333,083
繰延税金負債	53,109	54,670
退職給付に係る負債	548,490	560,913
役員退職慰労引当金	14,740	14,957
その他	332,681	334,487
固定負債合計	2,338,165	2,250,174
負債合計	14,426,847	14,948,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,019,617	1,019,617
資本剰余金	1,008,916	1,008,916
利益剰余金	1,426,693	527,545
株主資本合計	3,455,226	2,556,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,095	33,208
為替換算調整勘定	△68,713	△26,530
その他の包括利益累計額合計	△32,618	6,678
純資産合計	3,422,608	2,562,757
負債純資産合計	17,849,455	17,511,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,837,416	4,111,234
売上原価	978,187	1,682,838
売上総利益	859,229	2,428,396
販売費及び一般管理費	2,173,713	2,670,578
営業損失(△)	△1,314,483	△242,182
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,072	2,624
受取手数料	2,117	1,348
助成金収入	167,084	20,797
為替差益	—	7,987
その他	10,782	1,121
営業外収益合計	182,058	33,880
営業外費用		
支払利息	5,663	5,385
為替差損	2,611	—
その他	1,384	202
営業外費用合計	9,659	5,588
経常損失(△)	△1,142,084	△213,890
特別損失		
固定資産除却損	845	2
特別損失合計	845	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,142,930	△213,893
法人税、住民税及び事業税	10,037	10,414
法人税等調整額	△55,599	1,603
法人税等合計	△45,562	12,018
四半期純損失(△)	△1,097,368	△225,911
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,097,368	△225,911

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,097,368	△225,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,712	△2,886
為替換算調整勘定	△14,654	42,183
その他の包括利益合計	4,057	39,296
四半期包括利益	△1,093,311	△186,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,093,311	△186,614
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、和装事業の加工販売、和装事業及びウェディング事業の写真販売について、従来は、成果の確実性が認められる場合には、販売基準によっておりましたが、財又はサービスに対する支配が顧客に一定の期間にわたり移転する場合には、財又はサービスを顧客に移転する履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した原価が、予想される原価の合計に占める割合に基づいて行っております。また、和装事業のポイント制度について、従来は、将来にポイントとの交換に要すると見込まれる費用を引当金として計上する方法によっておりましたが、当該ポイントが重要な権利を顧客に提供する場合、履行義務として識別し、収益の計上を繰り延べる方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は145,579千円、売上原価は23,920千円、販売費及び一般管理費は4,497千円それぞれ減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ117,161千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は634,640千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「ポイント引当金」は、当第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる影響はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,700,700	136,716	1,837,416	—	1,837,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,700,700	136,716	1,837,416	—	1,837,416
セグメント損失(△)	△490,270	△621,797	△1,112,068	△202,415	△1,314,483

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△202,415千円は本社管理費であります。

2. セグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,116,093	995,141	4,111,234	—	4,111,234
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,116,093	995,141	4,111,234	—	4,111,234
セグメント利益又は損失(△)	△72,806	1,020	△71,786	△170,396	△242,182

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△170,396千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「和装事業」の売上高は123,706千円減少、セグメント利益は97,111千円減少し、「ウエディング事業」の売上高は21,872千円減少、セグメント利益は20,049千円減少しております。